



桜塚小学校だより 2月号

<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/sakuraz/>

令和2年(2020年)2月3日
豊中市立桜塚小学校
校長 原野 裕章



早いもので、新年が始まって、一ヶ月が過ぎました。一月は「いく」二月は「にげる」といいますが、二月はあっという間に過ぎてしまいます。あちらこちらの教室で、今年度のカウントダウンの準備が始まっています。卒業式までの授業日数は、後30日しかありません。それぞれこの学年をいい形で終わり、新しい次の学年へと繋げていけるように、頑張りましょう。



・オープンスクール 1月23日(木)

10時25分～12時30分にかけて、オープンスクールを実施しました。休み時間から、給食の準備まで、普段の参観ではご覧いただけない場面も、ご覧いただけたのではないかと思います。また、各クラスの授業もいつもの参観とは違った、普段どおりに近い授業が多かったと思います。



・マラソン記録会 1月28日(火)29日(水)

昨年度に引き続き、大門公園でマラソン記録会を行いました。冬の体育の授業の取り組みの1つに、「持久走」を行っています。その取り組みのまとめとしての意味もあり、自分の記録に挑戦するのがマラソン記録会です。



雨上がりのコンディションとしては良くはなかったのですが、より多くの保護者の皆様にも応援していただくためにも、予定通りの実施をいたしました。子ども達はそれぞれのペースで走り、みんな最後まで、頑張っ走りきってくれました。



学校教育アンケートより（裏面参照）

回答数は、491件で、回収率は90.4%でした。

項目ごとに、肯定的意見と否定的意見を比べると、おおむね90%近い肯定的意見を頂きました。項目によって多少増減はあるものの、昨年度とほぼ同様の結果でした。肯定的意見が最も多かったのは、13番「先生は、子どものまちがった行動を指導してくれる」の項目で、95.8%でした。次が6番「子どもは児童会行事や運動会や学習発表会の学校行事、クラブ活動に楽しく参加している」と10番「子どもは学校に友だちがいると言っている」の項目で、95.7%の割合でした。否定的意見が多かったのが、18番「学校は、特色ある教育活動に取り組んでいる」(42.6%)、15番「学校の施設・設備は、学習環境面でほぼ満足できる」(18.7%)、5番「学校は落ち着いた雰囲気の中で授業を行っている」(18.0%)でした。これらの項目では、分からないとかいう回答も、それぞれ13.7%、5.9%、7.4%と高い割合を示していました。また、1番「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」2番「子どもは、学級が楽しいと言っており、子どもたちは、生き生きとしている」の2項目については、それぞれ90.9%と93.4%の子どもが肯定的でした。しかし、昨年度の13.7%、9.4%よりも少なくはなっていないが、9.1%と6.6%の子ども達が否定的であることは、学校として引き続き、課題として捉えています。どの子も安全・安心して学校生活を送れるように、「さわやか委員会」を中心に、学校全体で組織的に取り組んでいかなければならないと考えています。

自由記述欄からは、学習指導の進捗等についてのご意見や、学級通信に関するご意見、学級編成に対するご意見等を賜りました。学習指導については、学年がチームとして相談しながらすすめています。また、学級通信に関しては、それぞれの先生の個性も活かしてもらいながら、学級の様子ができるように伝えていければと思います。学級編成に関しては、学校としても、出来る限り少人数編成で取り組みたいと考えています。ただ、制度の問題でもありますので、要望できることは要望して、現制度の中で出来る限りの努力をしていきたいと考えています。その他多数のご意見を賜りました。今後の学校経営に活かしていきたいと思ひます。貴重なご意見ありがとうございました。